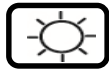


沖 縄



沖縄の景気は、個人消費、観光が好調を持続するなど、**拡大**。

個人消費は、衣料品や家庭用品を中心にスーパー販売が減少したものの、好調な訪日外国人の消費などにより化粧品を中心に百貨店販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、好調を持続。**住宅建築**は、持家、貸家が減少したものの、分譲住宅が増加するなど、持ち直しの動き。**設備投資**は、建築着工床面積が減少するなど、足踏み。**公共工事**は、独立行政法人等、市町村が増加したものの、国、県が減少するなど、足踏み。**輸出**は、パルプ・古紙、精密機械、再輸出品が減少するなど、やや弱含み。

生産活動は、プラスチック製品、窯業・土石製品が増加したものの、食料品、金属製品が減少するなど、横這い。**観光**は、国内客が減少したものの、外国人客が増加するなど、好調を持続。**雇用**は、有効求人倍率が高水準を維持するなど、改善。

先行きは、拡大が続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢